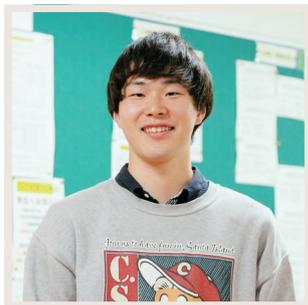




高橋月見草さん（千葉大学教育学部小学校教員養成課程3年）
 ①教育が人間の土台を作ると認識したから
 ②先生や職員の方の支援が手厚いところ
 ③スポーツで挫折した時に父が言った「他人ではなく過去の自分と比べなさい」
 ④子どもと正面から向き合う教員



服部純平さん（横浜国立大学教育学部小学校教育課程3年）
 ①先生に憧れていた
 ②南門入ったところが自然にあふれている
 ③高校の部活の顧問に言われた「失敗は誰にでもある。そのあと、どう取り返すか」
 ④「自分でできた」と思えるような場を提供できる教員



熱田幹汰さん（千葉大学教育学部小学校教員養成課程3年）
 ①いつまでも人の記憶に残る職業だから
 ②東京に近いところ
 ③小学校の担任が卒業アルバムに書いた「やがて島根の土となれ」。島根で教員をするのが夢
 ④背伸びせず子どもと一緒に成長できる教員



住吉 遥さん（横浜国立大学教育人間科学部学校教育課程4年）
 ①中心に立つことが多く、その失敗を活かしたかった
 ②面倒見がいい
 ③高校の先生に言われた「何も咲かない寒い日は下へ下へと根をのばせ。やがて大きな花が咲く」
 ④多様性を認め将来へ導ける教員



那須達憲さん（千葉大学教育学部特別支援教育教員養成課程4年）
 ①両親が教員で幼い頃から憧れていた
 ②総合大学のため様々な分野で学ぶ友人から刺激をもらえる
 ③中学校の担任に言われた「一生懸命が一番かっこいい」
 ④中堅として学校の中心的存在に

CAMPUS SNAP

あなたが教職を志した動機は？

首都圏
編



清水千寛さん（千葉大学教育学部小学校教員養成課程3年）
 ①小学校教員だった両親の影響
 ②全国各地から学生が集まっているところ
 ③母に言われた「今まで失敗したからといって、次も失敗するとは限らない」
 ④子どもの可能性を伸ばしてあげられる教員

今回のキャンパススナップ首都圏編は
 千葉大学・横浜国立大学の
 学生のみなさんにご登場いただきました！



- ①あなたが教職を志した動機は？
- ②自分の大学の好きなおところは？
- ③今でも覚えている先生(家族、友人、恋人等)の言葉は？
- ④10年後どんな自分になっていたいですか？



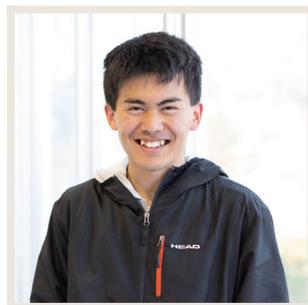
塚迫結奈さん（横浜国立大学教育学部学校教育課程2年）
 ①生活指導などを通して子どもと一緒に成長したいから
 ②猫がたくさんいる
 ③中学校の先生に言われた「後悔して泣くのは家に帰ってからの、シャワーでしろ」
 ④子どもや周りの人の話を聞ける教員



海老沢一磨さん（千葉大学教育学部小学校教員養成課程3年）
 ①子どもが好きでその成長に携わりたいかった
 ②出身地の茨城県から近く、のどかな環境
 ③小学校の担任に言われた「やるべきことは確実に」
 ④子どもたち一人ひとりの立場で理解してあげられる教員



葛西加奈さん（横浜国立大学教育学部学校教育課程3年）
 ①学校が好きで、教員として戻りたかった
 ②図書館が綺麗で課題がはかどる
 ③高校の顧問に言われた「君はまだ本気を出していないだけだ」
 ④子どもが「こういうおとなになりたい」と思うような教員



原 秀彰さん（横浜国立大学教育学部学校教育課程2年）
 ①先生との出会いに恵まれていた
 ②クラス制があること
 ③高校の先生に言われた「1歩踏み出した経験は必ず子どもに寄り添うことに役に立つ」
 ④子どもが少しでも学びやすい環境をつくり、寄り添える教員

※学年は取材時のもの